

豊富な機能安全対応と組み込みセキュリティの開発実績に裏打ちされた

Safety & Securityソリューション

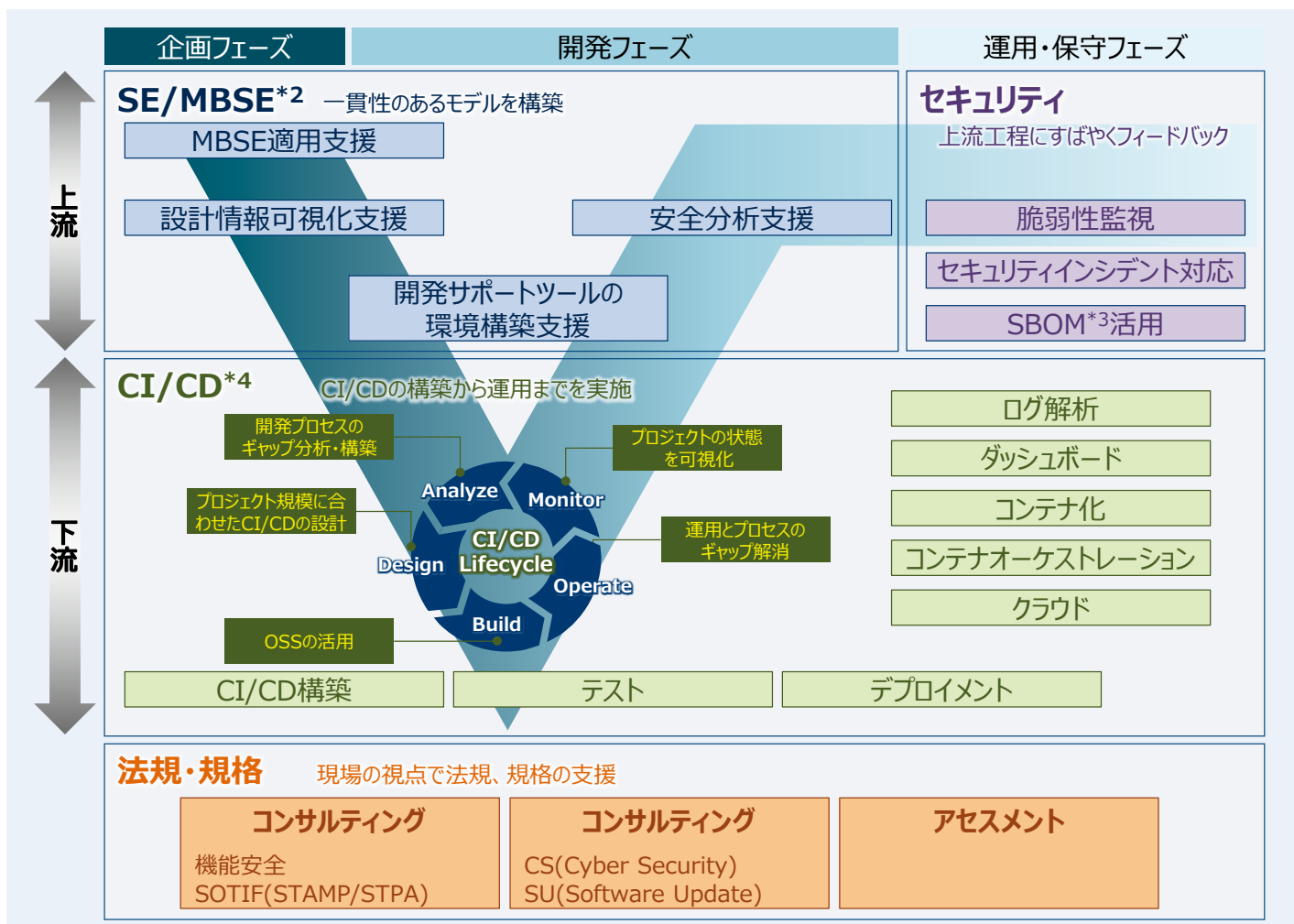
何から始めてよいか
わからない

効率よくセキュリティ
対応を取り入れたい

継続的に運用
できる環境がほしい

Safety(機能安全/SOTIF^{*1})やSecurity(サイバーセキュリティ)、ソフトウェア管理(CI/CD)の義務化など、国際基準に沿った製品開発を支援します

1. 導入教育から製品開発までトータルサポート！
2. 機能安全規格とサイバーセキュリティ規格への対応を統合し、SafetyとSecurityを両立したソリューションを提供
3. セキュリティベンダと連携した脆弱性対策のサポート



*1) SOTIF : Safety of the intended functionality *2) SE/MBSE : Systems Engineering/Model-Based Systems Engineering
 *3) SBOM : Software Bill Of Materials *4) CI/CD : Continuous Integration/Continuous Delivery

Safety & Security ソリューションメニュー

お客様のフェーズ・製品計画に合わせたご提案が可能です。

No.	ツール名称	ツール概要
1	開発プロセス構築支援サービス	既存のQMS（品質マネジメントシステム）に対して、SafetyとSecurityを両立した開発プロセスを構築するためのコンサルティングサポートを行い、SafetyとSecurityが両立できる開発プロセス支援を行います。
2	Safety & Security 開発支援サービス	MBSEの手法を使い、SafetyとSecurityが互いに干渉する部分に対して、一貫した上流設計の開発ができるように支援します。
3	脆弱性診断サービス	OSSを利用する際に脆弱性診断を行い脆弱性に関するレポートを支援します。脆弱性診断時に各国際規格の対応をする際のレポートを支援します。
4	DevSecOps ^{*5} 運用サポートサービス	脆弱性診断サービスとCI/CDサービスを組み合わせて、OSSに対するDevSecOpsを実現し、構築、運用のサポートを支援します。

DevSecOpsでのSBOM活用の取り組み事例紹介

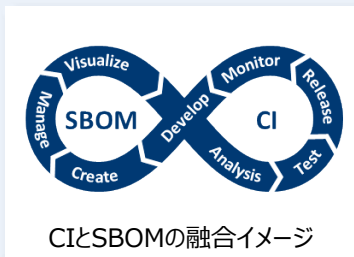
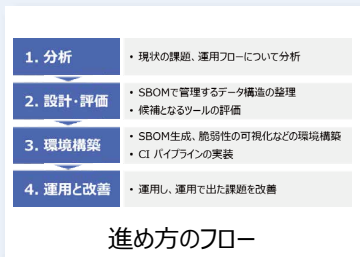
OSSのSBOM生成と脆弱性情報の収集、可視化の自動化を実現

[お客様の課題]

製品で利用しているOSSについて人手をかけずに、OSSが持っている脆弱性を把握したい。

[解決策]

CIとSBOMを組み合わせることで、人手をかけずに自動的にSBOMを生成。生成したSBOMと脆弱性管理DBから、ソフトウェアが利用しているOSSの脆弱性情報を取得し可視化を実現した。



詳しくはWebで！

日立産業制御 セキュリティ

検索

<https://info.hitachi-ics.co.jp/product/sss/>



*5) DevSecOps: Development Security Operations

- 記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、商標もしくは登録商標です。
- 本紙の掲載内容は2025年1月現在のものです。改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本紙の掲載内容は、日本国内向けです。本製品を輸出等される場合は、外国為替及び外国貿易法の規則ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお不明な点は当社担当営業にお問い合わせください。

株式会社 日立産業制御ソリューションズ

<https://www.hitachi-ics.co.jp>

営業統括本部	〒110-0006 東京都台東区秋葉原6番1号(秋葉原大栄ビル)	(03)3251-7241	お問い合わせ
茨城支店	〒310-0011 茨城県水戸市三の丸一丁目4番73号(水戸京成ビル)	(029)221-2770	
中部支店	〒460-8435 愛知県名古屋市中区栄三丁目17番12号(大津通電気ビル)	(052)259-1241	
関西支店	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目3番18号(中之島フェスティバルタワー)	(06)6202-1649	
西日本営業所	〒730-0036 広島県広島市中区袋町5番25号(広島袋町ビル)	(082)248-2838	